

問題：洪水、山草原火事、黄砂、砂漠化

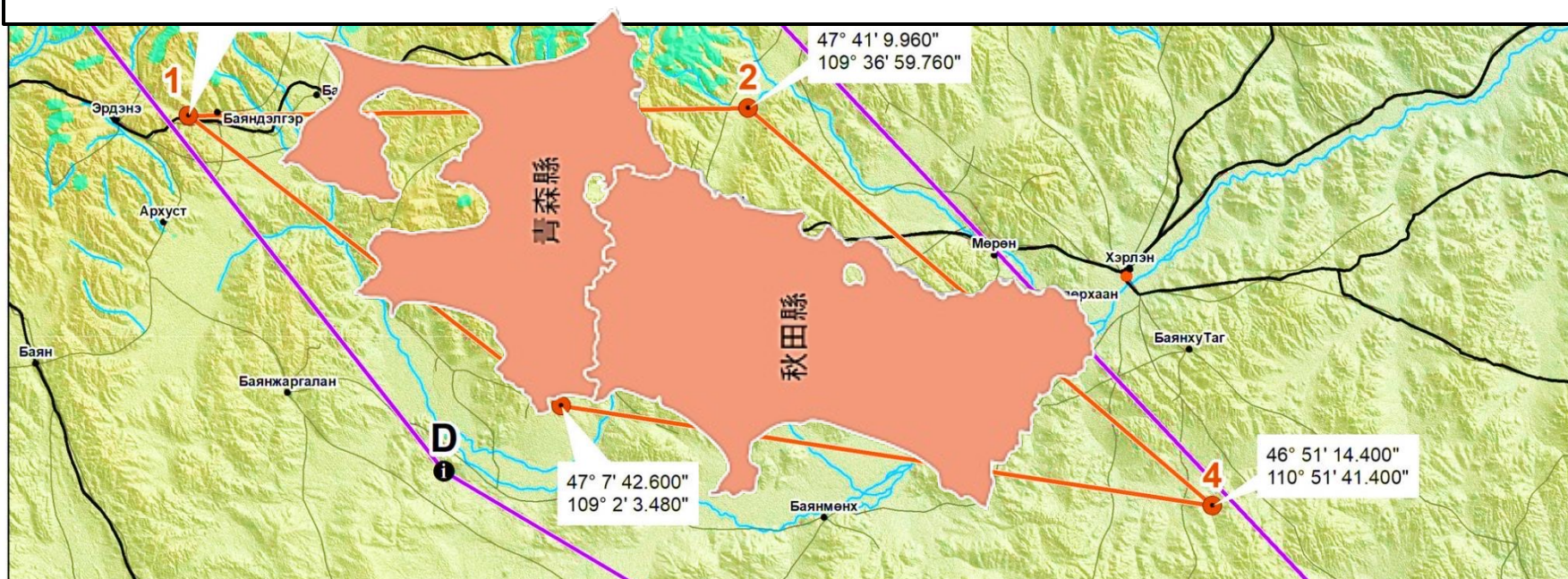


背景：モンゴル初、長距離ドローン開発



モンゴル初のドローン開発のエアロボテック社を2014年設立、2017年に長距離固定右翼型（1,000キロ）ガソリンエンジン搭載、フルカーボンボディのマニュアルIとIIの制作。2018年、2019年に日本のNESTRA, SEL社と協力の元、初飛行に成功。

背景：日本・モンゴルエアロスペース協力シンポジウム2024



今まではスペースバルーン実験のため、2万キロ平方の空間（青森と秋田県を合わせた面積）アドホックで設置。

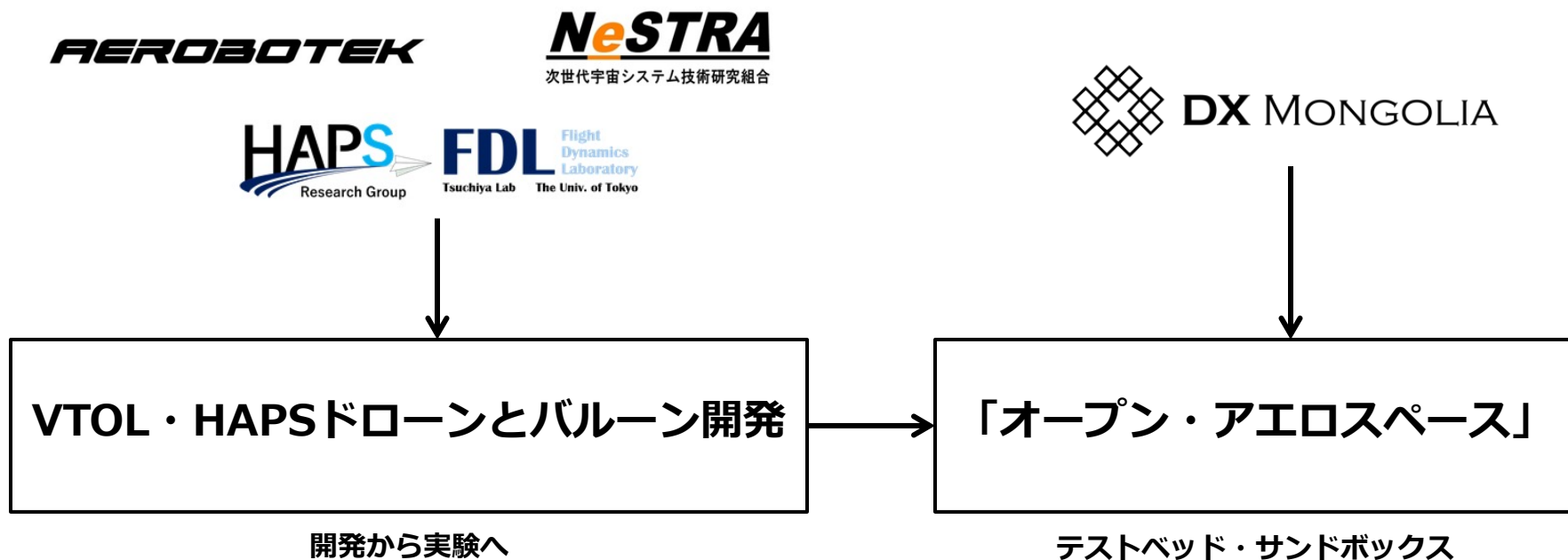
DX Mongoliaは、JICAモンゴルのモンゴル航空宇宙基礎調査を受託、日本・モンゴルエアロスペース協力シンポジウム2024を3月2日に開催。本調査の中、モンゴルにおける「オープンエアロスペース」構想を各関連機関と意見交換して基本合意に至った。

MICS2024「オープン・エアロスペース」プロジェクト

1. 東京大学の森田先生の独自開発した自動操縦機（オートパイロット）とソフト・シュレータを使い、垂直離着陸型（VTOL）ドローンの共同開発・そのドローンを使った各種センサーによるデータ取得
2. 固定右翼ドローンキットを使った学生（科技大生と高専生向け）ワークショップを8月20日実施予定
3. 東京大学開発の成層圏における、HAPSドローンのモンゴルでの実験
4. NESTRAの大型バルーンとHAPSバルーンのモンゴルでの実験
5. スペースバルーン旅行のモンゴルでの実験（岩谷技研社）
6. 空飛ぶ車に実験
7. その他



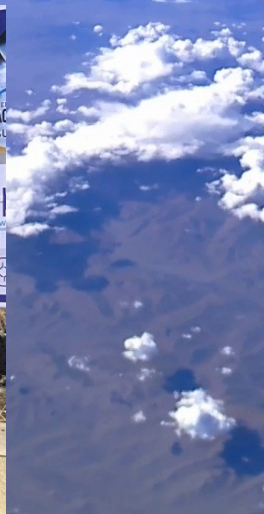
MICS2024「オープン・エアロスペース」プロジェクトの構成図



背景：国際スペースバルーンサミット

2016-09-20 15:11:16

2016年から千葉工大とモンゴル高専の共同研究で計50回打上げ、回収率100%達成。
2024年3月に国際スペースバルーンサミットの初開催。日本の高専と大学らで5つ、モンゴルの3高専とDX Mongoliaと企業合同の5つのミッションをウランバートル市ないから打ち上げ。
モンゴル官房長官、デジタル大臣、日本大使視察。



モンゴルにおける「オープン・エアロスペース」プロジェクト

ドローン・スペースバルーンサミット・スペースバルーン旅行・空飛ぶ車

技術共同開発 (PoC)
お願い！

